

## 中央放射線部

### 核医学検査装置が新しくなりました

核医学検査とは、微量の放射線を出す薬を注射し、体内から出る放射線を検出して画像にする検査です。

シンチグラフィ、アイソトープ、RIなどと呼ばれます。

さまざまな臓器の形態や機能を調べたり、体内の腫瘍を探したりすることができます。

2018年3月にSiemens社のSymbiaを導入しました。

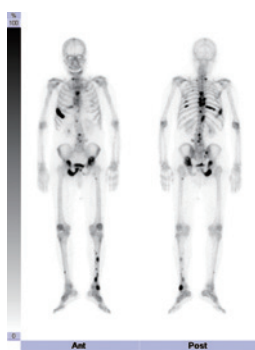
検出器の感度がよくなったことで検査時間が短くなり、心筋シンチグラフィでは薬剤変更により、食事を制限する必要がなくなりました。

また、装置の導入に伴って検査室の改装も行いました。明るく清潔感のあるお部屋で検査を受けていただけます。



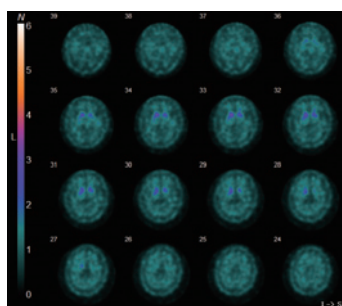
### 当院で行っている検査（一部）

#### 骨シンチグラフィ



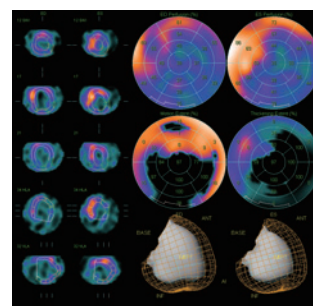
骨に病変があった場合、その場所へ医薬品が集まります。全身検索により転移巣の見落としが少ないとされます。

#### ダットシンチグラフィ



脳の線条体という部分にある神経の変性を調べます。パーキンソン病やレビー小体型認知症の診断が可能です。

#### 心筋シンチグラフィ



心筋の虚血領域の検出や心筋梗塞後の評価が可能です。必要に応じて運動による負荷をかけてから検査することもあります。



ご不明な点がございましたら、遠慮なく放射線科スタッフにお尋ねください。